

令和5年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる
施策の目標	スポーツを「する・みる・ささえる」のうち、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関わり、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや、地域での交流が行われています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					45.0					70
実績	38.6	38.6	40.9	40.9	64.3	64.3	63.0			
指 標 名	「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					55.0					58.0
実績	49.9	49.9	43.9	43.9	48.6	48.6	51.7			

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
指標の字数値は、住民意識調査で把握をしている。 「週に1回以上、運動・スポーツをしている」成人区民の割合について、東京都の調査でのスポーツの定義は、「勝敗や記録を競うものだけでなく、ウォーキングや散歩など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を含める」としていることから、令和2年度の住民意識調査から東京都の定義と合わせることとした。 「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合は減少傾向にあったが、令和2年度は上昇に転じており、引き続き今後の動向を注視する。	R2	1,250,911
	R3	1,034,517
	R4	1,754,729

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	だれもが安心してスポーツを楽しめる機会の確保と環境づくりを進めるため、スポーツをする環境・状況をハード・ソフトの両面から工夫する必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】

本区の高齢化率は今後も進んでいくことが予測されており、生涯スポーツの促進や競技スポーツの振興は、区民の健康増進及び体力向上の観点からも、欠かすことのできない重要な施策である。

【今後の具体的な方針】

住民意識調査の結果では、スポーツや運動を週1回以上行った人は、性別で見ると男性の方が高くなっている。また、性・年代別で見ると、女性60歳代、男性30歳代、50歳代で7割近くとなっている。職業別で見ると、有職男性で7割近くとなっている。運動やスポーツに親しむことは、地域との交流や親子がふれあう機会の創出、生活習慣病の予防等の観点からも有意義であることから、こうした世代に対するきめ細やかなアプローチを進めていく。合わせて、区民が健康で豊かな生活を送ることができるよう、誰もが運動やスポーツを楽しめる環境を整備していく。

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費	3,657	1,635,796	1,639,453	67	現状維持
					63	令和4年度
2	区民スポーツ教室経費	13,210	6,543,182	6,556,392	67	現状維持
					63	令和4年度
3	スポーツ施設開放事業	4,112	2,453,693	2,457,805	67	現状維持
					63	令和4年度
4	区民体育大会兼都民体育大会運営費	5,566	6,547,671	6,553,237	67	現状維持
					63	令和4年度
5	区民体育祭(総合開会式含む)	5,500	6,547,671	6,553,171	67	現状維持
					63	令和4年度
6	墨東五区大会運営費	7,093	1,635,796	1,642,889	67	現状維持
					63	令和4年度
7	区民納涼民踊大会	979	1,635,796	1,636,775	67	現状維持
					63	令和4年度
8	姉妹区親善スポーツ大会運営費	62	1,635,796	1,635,858	67	現状維持
					63	令和4年度
9	ホームタウン・スポーツチームの育成	370	4,089,489	4,089,859	67	現状維持
					63	令和4年度
10	野球場の借上げ事業	10,308	1,635,796	1,646,104	80	現状維持
					80	令和4年度
11	墨田区総合体育館	749,273	2,453,693	3,202,966	461,263	現状維持
					384,667	令和4年度
12	スポーツプラザ梅若	51,688	2,453,693	2,505,381	13,746	現状維持
					11,048	令和4年度
13	両国屋内プール	119,135	2,453,693	2,572,828	17,696	現状維持
					16,576	令和4年度

14	すみだスポーツ健康センター	534,137	2,453,693	2,987,830	65,826	現状維持
					23,491	令和4年度
15	墨田区総合運動場	66,595	2,453,693	2,520,288	20,000	現状維持
					20,991	令和4年度
16	区営運動場	180,942	4,089,489	4,270,431	55,000	現状維持
					55,002	令和4年度
17	東京2020オリパラ競技大会レガシー	2,102	8,192,445	8,194,547	67	現状維持
					63	令和4年度

令和5年度 事務事業評価シート

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費					1
目 的	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進を図るほか、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようにする。また、地域の交流の場として、障害者施設間をはじめとする各団体の相互理解、親睦を深めること、一般区民への啓蒙・周知を図る。					主管課・係(担当)
						スポーツ振興課スポーツ振興担当
						5608-6312
対 象 者	区内障害者施設の利用者					
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条					
関 連 計 画						
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人のぞみ外	
事 業 内 容	例年、10月第3日曜日に墨田区総合体育館において、各障害者団体、福祉作業所等の利用者及びその家族が参加する運動会型レクリエーション大会を行っている。 内容については、各団体から実行委員を選出し、実行委員会において決定し、買い物競走・玉入れ・パン食い競走など、全13種目を実施している。運営は、スポーツ推進委員、その他の協力団体により行っている。					
経 過	開始年度	昭和56年		終了予定		
	昭和56年の国際障害者年を契機として開催され、以後継続している。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) ・例年、6月上旬から中旬に実行委員会設置、10月第3日曜日に実施。 ・令和2・3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		3,340	3,642	0	0	0	3,915
A.決算額(令和5年度は見込み)		3,170	3,495	0	0	0	3,915
財 源	国						
	都	2,535	3,000	0	0	0	0
	その他						
一般財源		635	495	0	0	0	3,915
執行率(%)		94.9%	96.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
B.人コスト			5,243	1,764	1,759	1,635	
総事業決算額(A+B)		3,170	8,738	1,764	1,759	1,635	

予算書P（令和5年度）			123			執行実績報告書P（令和4年度）											
予算・決算の内訳（単位：千円）																	
令和3年度（決算）				令和4年度（決算）				令和5年度（予算）									
節		概要		金額		節		概要		金額		節		概要		金額	
報償費		競技役員等謝礼		0		報償費		競技役員等謝礼		0		報償費		競技役員等謝礼		368	
需用費		消耗品の購入外		0		需用費		消耗品の購入外		0		需用費		消耗品の購入外		872	
役務費		傷害保険料		0		役務費		傷害保険料		0		役務費		傷害保険料		50	
委託料		設営委託等		0		委託料		設営委託等		0		委託料		設営委託等		2,360	
使用料及び賃借料		施設使用料		0		使用料及び賃借料		施設使用料		0		使用料及び賃借料		施設使用料		265	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		975	R7	目標	750	775	800	825
				実績	770	743	726	693
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	875	900	925	950	975
		実績	0	0	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区内障害者施設の利用者の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由) スポーツに関心を持っている区内障害者施設の利用者による参加者数の増を想定した。ただし、過去の実績から大幅な増加は見込めない。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 障害者(児)スポーツレクリエーション大会を実施することと、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民の割合は、一定程度相関関係があると考えられるため。							
	(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	毎年一定の参加者があり、リピーターも多いことから区民のニーズがあるといえ、当該事業の必要性は高い。また、区内障害者施設の利用者が一堂に集まる数少ない事業であり、地域交流の場として重要であることから、今後も安全面等を考慮して改善しながら継続していく。

課題・問題点
・大会実施工程や種目を工夫・改善し、より多くの区内障害者施設の利用者が参加できるようにする必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	区民スポーツ教室経費					2
目 的	すべての区民が参加できるスポーツ活動の場を設け、区民の健康増進及び体力向上を図る。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ振興担当
						5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学の成人					
根 拠 法 令 関 連 計 画	スポーツ基本法第22条					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツド アあずま、特定非営利活動法人両国倶楽 部	
事 業 内 容	以下の各種スポーツ教室について、委託を行う。 (1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・バドミントン・ミニテニス・ビーチボールバレー・ラージボール卓球といったニュースポーツの体験教室 ・毎回の教室では、スポーツ推進委員が指導者として教室を行う。 (2)高齢者健康体操教室 ウォーキング、ストレッチング、ボールを使ったエクササイズ、リズムダンスなど高齢者(区内在住の65歳以上で要 介護認定を受けていない者)の健康増進を目的とした体操教室 (3)ボート教室 ファミリー向けの初心者ボート教室					
経 過	開始年度	以下のとおり			終了予定	
	(1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・昭和51年度から北部と南部の小学校等で実施している。 ・平成23年度からは第四吾嬬小学校及び外手小学校で実施している。 (2)高齢者健康体操教室 ・昭和52年度から社会体育課体育係(現スポーツ振興課スポーツ振興担当)から体育館へ事業を移管した。 ・平成22年度、総合体育館の新築に伴い、体育館からスポーツ振興課スポーツ振興担当に事業を移管した。 (3)ボート教室 平成27年度から平井橋水防倉庫で漕艇庫を供用したため、ボート教室を実施している。					
議 会 質 問 の 状 況	[H28予算特別委員会(3.11)] スポーツ教室などでも、参加者は女性が大変多く、男性の高齢者は少ない。介護予防の観点から、男性にも もっと積極的に、スポーツやいろいろな地域の活動に参加してもらいたい。 →スポーツ振興の観点からは答弁なし [R2決算特別委員会(10.23)] 2025年問題に向けて、極力、医療、介護、社会保障費を下げていかなければならない。その観点から、健康寿命を延 ばすことが重要だと考えており、高齢者健康体操教室をより一層広めていく必要がある。 →事業を拡大するとなると、会場確保や講師の手配といった課題があるため、委託先である総合型地域スポーツク ラブとも相談しながら、検討を進めていきたい。					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) (1)ちょっと楽しいスポーツ教室:令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止 (2)高齢者健康体操教室:令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		11,221	11,045	7,650	12,021	13,434	13,544
A.決算額(令和5年度は見込み)		11,142	11,045	7,542	11,816	13,210	13,544
財 源	国						
	都	3,402	3,451	2,784	3,639	4,337	4,379
	その他	2,412	2,201	1,373	2,517	2,528	3,053
一般財源		5,328	5,393	3,385	5,660	6,345	6,112
執行率(%)		99.3%	100.0%	98.6%	98.3%	98.3%	100.0%
B.人コスト			2,621	7,058	7,037	6,543	
総事業決算額(A+B)		11,142	13,666	14,600	18,853	19,753	

予算書P（令和5年度）			122		執行実績報告書P（令和4年度）			56	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
役務費	保険料	631	役務費	保険料	645	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,485	
委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,298	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,280		高齢者健康体操教室	11,570	
	高齢者健康体操教室	9,398		高齢者健康体操教室	10,795		ボート教室	491	
	ボート教室	491		ボート教室	491				

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		18,000	R7	目標	13,000	13,500	14,000	14,500
				実績	13,965	14,643	15,378	14,110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000
		実績	6,493	10,044	14,768			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由) 積極的な広報を行い、新たな参加者の増加も想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 区民スポーツ教室事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを測る必要があるため							
	(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	スポーツをする機会の確保、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成・活性化策として有効であるとともに区民の健康増進・体力向上に資する施策である。今後さらなる周知を行い、スポーツ実施率向上を目指す。

課題・問題点
・ちょっと楽しいスポーツ教室 新規の受講者の増加に向けた検討が求められる。また、小学校の体育館を会場としているため、学校事業等で会場が使用できない場合の代替場所の確保が困難となっている。 ・高齢者体操教室 教室で使用しているボールやマットなどの用具の整備を要する。 参加者から実施の要望も非常に多く、高齢者の健康増進・介護予防等を目的とした事業であるため、必要性は高い。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	スポーツ施設開放経費					3
目 的	区民にとって身近な場所でスポーツを行える機会を提供することで、スポーツに触れ合うきっかけにしようとともに、地域交流を促進する。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ振興担当
						5608-6312
対 象 者	中学生以上の区内在住・在勤・在学者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区スポーツ開放校基本要綱					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツ アあずま、特定非営利活動法人両国倶楽 部	
事 業 内 容	区内の中学校6校・小学校1校・旧学校施設1箇所に指導員を置き、中学生以上の区民に開放する。 ○バレーボール 錦糸中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○ニュースポーツ 墨田中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○バドミントン 竪川中学校、吾嬬立花中学校、吾嬬第二中学校、旧向島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○バスケットボール 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○ソフトテニス 寺島中学校 毎週日曜日午後1時～4時 ○硬式テニス 寺島中学校 毎週水曜日午後7時～9時 ○卓球 曳舟小学校 毎週火曜日午後7時～9時					
経 過	開始年度	昭和43年度			終了予定	
	昭和43年度から、区民のスポーツ振興を図るため、区内の中学校体育館や、校庭、プールを開放し、区民が身近な 場所でスポーツをする機会と場の提供を積極的に進めている。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 4月第2週から翌年3月まで実施 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		4,486	4,603	56	1,372	4,592	4,466
A.決算額（令和5年度は見込み）		4,460	4,579	46	980	4,112	4,466
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,460	4,579	46	980	4,112	4,466
執行率（％）		99.4%	99.5%	82.1%	71.4%	89.5%	100.0%
B.人コスト			1,748	2,647	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		4,460	6,327	2,693	3,619	6,565	

予算書P（令和5年度）			122			執行実績報告書P（令和4年度）			56		
予算・決算の内訳（単位：千円）											
令和3年度（決算）				令和4年度（決算）				令和5年度（予算）			
節		概要	金額	節		概要	金額	節		概要	金額
需用費		消耗品購入	7	需用費		消耗品購入	0	需用費		消耗品購入	9
役務費		スポーツ安全保険	37	役務費		スポーツ安全保険	38	委託料		運営委託	4,457
委託料		運営委託	936	委託料		運営委託	4,074				

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6,300	R7	目標	5,850	5,900	5,950	6,000
				実績	5,866	6,128	6,105	6,152
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300
		実績	0	552	3,858			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由) 積極的な広報を行い、新たな参加者の増加も想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツ施設開放事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを測る必要があるため							
	(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	一定数の参加者がいることから、区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図る手段としてスポーツ施設開放は適切であると思われる。また、地域交流の場としても参加者には定評があり、参加者が友人を連れてきて新たな交流が生まれる等の波及効果もあることから、今後も改善しながら継続していく。

課題・問題点
・未経験者及び初心者が新規参入しやすい環境を作っていく必要がある。 ・学校の統廃合や学校事業の多様化により、実施可能な施設が減少してきているため、事業の実施場所確保が必要である。

施 策	策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	区民体育大会兼都民体育大会運営費						4
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。						主管課・係（担当）
							スポーツ振興課スポーツ振興担当
							5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学者						
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条						
関 連 計 画							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人		
事 業 内 容	墨田区民体育大会(春季大会)は、都民体育大会、墨東五区大会等の予選を兼ねて、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目入賞者には区から賞状を、優勝者には区長杯が授与される。						
経 過	開始年度	昭和22年度			終了予定		
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。						
議 会 質 問 の 状 況							
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施						

予算・決算額推移（単位：千円）		3 0 年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算現額（事業費）		7,130	7,279	1,754	4,324	6,248	6,539
A.決算額（令和5年度は見込み）		6,884	6,575	442	1,543	5,566	6,539
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,884	6,575	442	1,543	5,566	6,539
執行率（％）		96.5%	90.3%	25.2%	35.7%	89.1%	100.0%
B.人コスト			6,990	7,058	7,037	6,547	
総事業決算額（A+B）		6,884	13,565	7,500	8,580	12,113	

予算書P（令和5年度）			122		執行実績報告書P（令和4年度）			56	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
需用費	消耗品購入等	48	需用費	消耗品購入等	333	需用費	消耗品購入等	424	
使用料及び賃借料	会場使用料	530	使用料及び賃借料	会場使用料	2,003	使用料及び賃借料	会場使用料	2,003	
負担金補助及び交付金	各種補助金	964	負担金補助及び交付金	各種補助金	3,912	負担金補助及び交付金	各種補助金	4,112	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数(区民体育大会・都民体育大会)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		11000	R7	目標	10500	10500	10500	10500
				実績	9887	9378	902	8857
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10500	10500	11000	11000	11000	11000
		実績	0	2535	8532			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測するため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)区民体育大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを測る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。

施 策	策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	区民体育祭運営費						5
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。						主管課・係（担当）
							スポーツ振興課スポーツ振興担当
							5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学者						
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条						
関 連 計 画							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人		
事 業 内 容	墨田区民体育祭(秋季大会)は、その名のとおりまさに体育の祭典であり、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目の入賞者には区から賞状、メダル等を、優勝者には区長杯が授与される。						
経 過	開始年度	昭和22年度		終了予定			
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。						
議 会 質 問 の 状 況							
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施						

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		7,895	8,315	2,566	5,077	7,692	9,021
A.決算額（令和5年度は見込み）		7,376	6,855	1,121	2,992	5,500	9,021
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,376	6,855	1,121	2,992	5,500	9,021
執行率（％）		93.4%	82.4%	43.7%	58.9%	71.5%	100.0%
B.人コスト			8,738	7,058	7,037	6,547	
総事業決算額（A+B）		7,376	15,593	8,179	10,029	12,047	

予算書P（令和５年度）			123		執行実績報告書P（令和４年度）			56	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和３年度（決算）			令和４年度（決算）			令和５年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
報償費	各種謝礼	0	報償費	各種謝礼	0	報償費	各種謝礼	0	
需用費	消耗品購入等	923	需用費	消耗品購入等	1,689	需用費	消耗品購入等	2,075	
委託料	会場設営委託	0	委託料	会場設営委託	0	委託料	会場設営委託	400	
使用料及び賃借料	会場使用料	650	使用料及び賃借料	会場使用料	2,500	使用料及び賃借料	会場使用料	2,846	
負担金補助及び交付金	各種補助金	1,420	負担金補助及び交付金	各種補助金	3,250	負担金補助及び交付金	各種補助金	3,700	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数(区民体育祭)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		14,500	R7	目標	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,638	13,186	12,904	11,656
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
		実績	1,376	5,162	9,957			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 区民体育祭を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを測る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会とのバランスを保つ必要がある。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。

施 策	策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	墨東五区各種大会運営費						6
目 的	14種目について墨東五区選抜選手による対抗戦を開催し、五区の親睦と技術の向上を図る。						主管課・係（担当）
							スポーツ振興課スポーツ振興担当
							5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学の選抜選手						
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条						
関 連 計 画							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人		
事 業 内 容	墨東五区(墨田区、江戸川区、江東区、葛飾区、足立区)で、毎年14種目のうち2～3種目を担当競技として持ち回り、各区選抜選手対抗の大会を実施する。 種目内訳:卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、柔道、剣道、陸上競技、弓道、駅伝競走、空手道、水泳、軟式野球、サッカー						
経 過	開始年度		終了予定				
	墨田区体育連盟(協会)が実施していたものを、行政が引き続き実施						
議 会 質 問 の 状 況							
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		2,543	3,331	0	0	7,135	2,600
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,775	2,270	0	0	7,093	2,600
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,775	2,270	0	0	7,093	2,600
執行率(%)		69.8%	68.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4%	100.0%
B.人コスト			4,369	1,764	1,759	1,635	
総事業決算額(A+B)		1,775	6,639	1,764	1,759	8,728	

予算書P（令和5年度）			123			執行実績報告書P（令和4年度）			57		
予算・決算の内訳（単位：千円）											
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）					
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額			
需用費	消耗品購入等	0	需用費	消耗品購入等	941	需用費	消耗品購入等				0
委託料	会場設営委託	0	委託料	会場設営委託	5,940	委託料	会場設営委託				0
使用料及び賃借料	会場使用料	0	使用料及び賃借料	会場使用料	254	使用料及び賃借料	会場使用料				0
						負担金補助及び交付金	各種補助金				2,600

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		700	R7	目標	650	650	650	650
				実績	644	678	712	661
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	650	700	700	700	700	700
		実績	0	0	367			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)墨東五区各種大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを測る必要があるため							
	(目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨東五区各種大会では、各種目を持ち回りで担当しているため、年度ごとの比較は困難であるが、毎年各種目の親睦及び技術の向上が図られている。

課題・問題点
毎年担当種目が異なるため、効率化を図る観点等から、一つの種目において事業運営方法を大幅に変えることは困難である。また、運営方法を変更する場合は、引き継ぎ方法等を踏まえ、全体で協議しなければならないため時間を要する。

施 策	策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	区民納涼民踊大会						7
目 的	区民体育祭の一環として実施しており、区民相互の親睦を深め、地域の活性化を図ることを目的としている。						主管課・係（担当）
							スポーツ振興課スポーツ振興担当
							5608-6312
対 象 者	区民一般						
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条						
関 連 計 画							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人		
事 業 内 容	毎年8月1日から3日までの3日間の18時から20時までで区民納涼民踊大会を実施。墨田区民踊連盟が主管となり、誰でも参加できる盆踊り大会を開催する。						
経 過	開始年度				終了予定		
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度：横網町公園で実施 平成18年度～23年度：錦糸公園で実施 平成24年度～現在：スカイツリータウンで実施						
議 会 質 問 の 状 況							
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。						

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		1,030	1,020	0	0	1,021	1,014
A.決算額（令和5年度は見込み）		1,009	1,009	0	0	979	1,014
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,009	1,009	0	0	979	1,014
執行率（％）		98.0%	98.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	95.9%	100.0%
B.人コスト			874	1,764	1,759	1,635	
総事業決算額（A+B）		1,009	1,883	1,764	1,759	2,614	

予算書P（令和５年度）		123	執行実績報告書P（令和４年度）			56		
予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和３年度（決算）			令和４年度（決算）			令和５年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	事業補助金	0	需用費	消耗品購入等	0	需用費	消耗品購入等	27
			負担金補助及び交付金	事業補助金	979	負担金補助及び交付金	事業補助金	987

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	900	500	1,000	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200
		実績	0	0	1,100			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 区民納涼民踊大会を実施することと、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民の割合は、一定程度相関関係があると考えられるため。							
	(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。

課題・問題点
会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場の利用については、平成24年度から同施設で実施しているが、引き続き使用できるよう調整していく。

施 策	策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	姉妹区親善スポーツ大会運営費						8
目 的	墨田区・台東区姉妹区親善事業の一つとして、両区のスポーツの振興と交流を目的として行う。						主管課・係（担当）
							スポーツ振興課スポーツ振興担当
							5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学者						
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条						
関 連 計 画							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人		
事 業 内 容	台東区と5種目の競技(アーチェリー、剣道、ソフトテニス、庭球、サッカー)を両区で分担して各種目の競技大会を相互開催している。						
経 過	開始年度	昭和53年度			終了予定		
	昭和52年4月の墨田区・台東区姉妹区提携に伴い、昭和53年より両区の親善スポーツ大会を開催している。						
議 会 質 問 の 状 況							
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の競技のみ実施						

予算・決算額推移（単位：千円）		3 0 年 度	令和元年度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度
予算現額（事業費）		137	277	137	251	90	251
A.決算額（令和5年度は見込み）		89	214	0	69	62	251
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		89	214	0	69	62	251
執行率（％）		65.0%	77.3%	0.0%	27.5%	68.9%	100.0%
B.人コスト			874	1,764	4,398	1,635	
総事業決算額（A+B）		89	1,088	1,764	4,467	1,697	

予算書P（令和５年度）			123		執行実績報告書P（令和４年度）			57	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和３年度（決算）			令和４年度（決算）			令和５年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
使用料及び賃借料	会場使用料	19	使用料及び賃借料	会場使用料	30	使用料及び賃借料	会場使用料	131	
負担金補助及び交付金	各種補助金	50	負担金補助及び交付金	各種補助金	32	負担金補助及び交付金	各種補助金	120	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		750	R7	目標	700	700	700	700
				実績	681	431	669	390
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	700	750	750	750	750	750
		実績	0	262	367			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 姉妹区親善スポーツ大会を実施すること、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民の割合は一定程度の相関関係があると考えられるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。 ・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。

課題・問題点
・参加者が一定の区民に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。 ・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	ホームタウン・スポーツチームの育成経費					9
目 的	墨田区をホームタウンとするスポーツチームを育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、トップアスリートとの交流を通じて、子どもたちの体力向上を図る。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ振興担当
						5608-6312
対 象 者	墨田区ホームタウン・スポーツチーム（フウガドルすみだ）、 小学校児童を中心とした区民					
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条					
関 連 計 画						
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)フウガドルすみだ、FC東京バ	
事 業 内 容	1 トップチームやアスリート等との交流 スポーツイベント、クリニック、ファン交流会の開催等					
	2 地域コミュニティ活動の形成 PFI事業者が主体となり、体育協会、サポーターズ、町会、地元商店街、総合型地域スポーツクラブ等と連携して事業展開していく。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	
	平成22年度に総合体育館が開館し、総合体育館をホームタウンとするスポーツチームを誘致・育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、総合体育館の3つの機能「する」「みる」「支える」を実現するための方策として推進している。 ・平成23年12月 フウガドルすみだと「墨田区ホームタウンチームの活動に係る連携に関する協定」を締結					
議 会 質 問 の 状 況	【R2第4回定例会（12.3）】 コロナ禍で大変な状況にある中で、墨田区としてできる限りの支援をしてあげてほしい。 →例年実施している応援イベント等は、コロナの影響で実施できていないが、まだ中止を決定したわけではないので、連携を取りながら可能な範囲で実施していきたい。 区庁舎に展示しているユニフォーム等をもっと人目のつくところに展示してはどうか。 →チームの意向を確認し、その上で場所の変更を検討する必要があるとなった場合には、総務課と相談しながら考えていきたい。					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		615	978	875	600	390	425
A.決算額（令和5年度は見込み）		374	510	160	330	370	425
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		374	510	160	330	370	425
執行率（％）		60.8%	52.1%	18.3%	55.0%	94.9%	100.0%
B.人コスト			874	4,411	1,759	4,089	
総事業決算額（A+B）		374	1,384	4,571	2,089	4,459	

予算書P（令和５年度）			123			執行実績報告書P（令和４年度）			57		
予算・決算の内訳（単位：千円）											
令和３年度（決算）				令和４年度（決算）				令和５年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	グッズ作成費	100	需用費	グッズ作成費	100	需用費	グッズ作成費	135			
委託料	イベント等委託	230	委託料	イベント等委託	290	委託料	イベント等委託	290			

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	学校訪問教室				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		12	R7	目標	10	10	10	10
				実績	5	5	2	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	11	11	12	12	12
		実績	3	4	6			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) トップアスリートと交流する学校訪問教室の開催数を計測することで、スポーツをするきっかけとなる子ども及び競技として関わる子どもが増えることを期待しているため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) ホームタウン・スポーツチームの育成事業を実施することと、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民の割合は、一定程度の相関関係があると考えられるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・トップアスリートと交流できる学校訪問教室などは、参加者からの評価が高く、地域活性化のために区が実施する必要性は高い。

課題・問題点
・ホームタウンチームの認知度向上に向けた検討策を講じる必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	野球場の借上げ事業					10
目 的	区民に自由に野球を楽しんでもらう。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5608-6588
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区江戸川河川敷野球場（借上）運営要綱					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人(委託先)(一財)サンケイス ポーツセンターからの借上げ	
事 業 内 容	(一財)サンケイスポーツセンターが管理する埼玉県三郷市の江戸川河川敷野球場27・28面を借り上げ、土曜日、日曜日、祝日に貸出しを行っている。					
経 過	開始年度	平成7年度			終了予定	未定
	墨田清掃工場の建設に伴い縮小した東墨田野球場の代替として、平成7年度から借上げを行っている。令和元年度から借上げ面数を土曜1面、日曜3面、祝日2面に縮小し、さらに令和3年度からは土曜1面、日曜2面、祝日1面に縮小した。理由としては、日曜、祝日の稼働率が高くなかったことがあげられる。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 港区、台東区、中央区が借上げを行っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		17,126	14,584	13,970	10,134	10,308	10,371
A.決算額（令和5年度は見込み）		17,126	14,584	13,970	10,134	10,308	10,371
財 源	国						
	都						
	その他	700	700	600	500	500	500
一般財源		16,426	13,884	13,370	9,634	9,808	9,871
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			874	1,764	7,037	1,635	
総事業決算額（A+B）		17,126	15,458	15,734	17,171	11,943	

予算書P（令和５年度）			124		執行実績報告書P（令和４年度）			58	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和３年度（決算）			令和４年度（決算）			令和５年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
使用料及び賃借料	賃借料	13,970	使用料及び賃借料	賃借料	10,308	使用料及び賃借料	賃借料	10,371	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	貸出しコマ数				単位	コマ
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		850	R7	目標	1000	1000	1000	900
				実績	1036	1024	1034	941
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	900	900	850	850	850	850
		実績	855	642	653	657		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用率を測定する指標として有効である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		80	R7	目標	80	80	80	80
				実績	63.6	68	65.9	70
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80	80	80	80	80	80
		実績	68	66	80			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	令和3年度から日曜・祝日の借上げ面数を削減した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	稼働率に応じた借上面数の見直しをしていく必要がある。他方、代替の施設がないため、状況を見極めることが必要である。

課題・問題点
稼働状況に注視していく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	墨田区総合体育館PFI事業費					11
目 的	区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5608-6588
対 象 者	墨田区総合体育館利用者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	(仮称)墨田区総合体育館建設等事業基本協定書 (仮称)墨田区総合体育館建設等事業契約書 墨田区総合体育館の管理運営に関する条例 墨田区総合体育館の管理運営に関する条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人(委託先)(株)すみだスポーツサポートPFI	
事 業 内 容	・施設概要 屋内プール、トレーニング室、スタジオ、アリーナ、武道場、多目的広場(フットサル等)、多目的競技場(アーチェリー等) ・施設の管理運営・維持管理 区民にスポーツをする・みる・支える機会を提供する場として、快適で安全な施設運営を行う。					
経 過	開始年度	平成22年度		終了予定	令和12年3月31日まで	
	事業契約期間：平成22年4月1日～令和12年3月31日(20年間) 多様化・増大化するスポーツ需要に応えられる施設として開館。 区民が「スポーツをする」だけでなく、「スポーツをみる」、「スポーツを支える」ことができる施設。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	新型コロナウイルスの影響で利用人数が減少している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		673,647	679,801	906,299	740,189	754,275	707,467
A.決算額（令和5年度は見込み）		655,918	679,801	839,911	697,054	749,273	707,467
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		655,918	679,801	839,911	697,054	749,273	707,467
執行率（％）		97.4%	100.0%	92.7%	94.2%	99.3%	100.0%
B.人コスト				7,058	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		655,918	679,801	846,969	699,693	751,726	

予算書P（令和5年度）			125		執行実績報告書P（令和4年度）			59	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
役務費	P C B 廃棄	354	委託料	施設管理、調査・研究	749,273	委託料	施設管理、調査・研究	707,467	
委託料	施設管理、調査・研究	598,382							
補償補填及び賠償金	コロナ補償	98,318							

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		740,899	R7	目標	536,650	536,650	536,650	536,650
				実績	689,496	689,669	673,510	641,501
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650	536,650
		実績	283,116	330,185	462,167			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	令和2年度及び4年度の利用人数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉館や時間短縮営業等の措置を行ったことから、例年と比較し、大きく減少している。 目標値は、協定書における利用者目標値。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	利用料金収入				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		461,263	R7	目標	461,263	461,263	461,263	461,263
				実績	490,069	515,053	510,567	454,662
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263	461,263
		実績	251,933	301,736	384,667			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	20年間の収入計画に対して、どれだけの収入実績があるかを確認することができる。令和元年度から4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館対応等により、収入計画を下回る実績となった。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民の健康維持・体力向上とスポーツを楽しむための施設として、維持管理運営を継続していく必要がある。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、FPI事業者と事業を進めていく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	スポーツプラザ梅若管理運営費					12
目 的	区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として管理運営を行う。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5608-6588
対 象 者	スポーツプラザ梅若利用者					
根 拠 法 令	スポーツプラザ梅若条例					
関 連 計 画	スポーツプラザ梅若条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)コナミスポーツ・セントラルエンジニアリンググループ	
事 業 内 容	・施設概要 体育館、会議室、トレーニング室、体力測定室 ・施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成12年度		終了予定		
	平成12年4月に区民のスポーツ活動及び健康・体力づくりを行う拠点施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期（現在）：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	令和4年度は令和2年度・3年度と比較し、利用人数や利用料金収入が増加しているが、コロナ渦前の水準には及ばない状況であった。					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		84,482	96,430	90,958	51,526	53,335	60,676
A.決算額（令和4年度は見込み）		67,891	76,220	74,819	50,166	51,688	60,676
財 源	国						
	都						
	その他	4,148	3,806	2,594	2,854		
一般財源		63,743	72,414	72,225	47,312	51,688	60,676
執行率（％）		80.4%	79.0%	82.3%	97.4%	96.9%	100.0%
B.人コスト				2,647	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		67,891	76,220	77,466	52,805	54,141	

予算書P（令和5年度）		125	執行実績報告書P（令和4年度）			59		
予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費等	2,950	需用費	光熱水費等	3,682	需用費	光熱水費等	3,781
委託料	委託料	43,910	委託料	委託料	47,742	委託料	委託料	54,288
工事請負費	維持補修費	2,181	備品購入費	備品購入費	264	工事請負費	維持補修費	901
備品購入費	備品購入費	308				備品購入費	備品購入費	1,707
補償補填及び賠償金	補償補填及び賠償金	817						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		(H28)	H29	H30	(基準年) R 1
		86,000	R5	目標				85,000
				実績				77,484
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	86,000	86,000	86,000	86,000		
		実績	46,719	55,004	65,913			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート(施設利用満足度)				単位	満足度 (5点満点)
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5.00	R5	目標				5.00
				実績				4.19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5.00	5.00	5.00	5.00		
		実績	4.25	4.21	4.21			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	体育館の需要が高く、スポーツ及び健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

令和5年度 事務事業評価シート

施 策	522 区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位	
事 業 名	両国屋内プール管理運営費			13	
目 的	区民の健康・体力づくりを行う施設として管理運営を行う。			主管課・係（担当）	
				スポーツ振興課スポーツ施設担当	
				5608-6588	
対 象 者	両国屋内プール利用者				
根 拠 法 令	両国屋内プール条例				
関 連 計 画	両国屋内プール条例施行規則				
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)コナミスポーツ・セントラルエンジニアリンググループ
事 業 内 容	・施設概要 プール(25m×7コース) ・施設の管理運営・維持管理 区民の健康・体力づくりの場として、施設の管理運営等を行う。				
経 過	開始年度	平成11年度	終了予定		
	平成11年8月に区民の健康・体力づくりを行う施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期:平成18年4月1日～平成21年3月31日(3年間) 第2期:平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間) 第3期:平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) 第4期(現在):平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
議 会 質 問 の 状 況					
そ の 他 特 記 事 項	令和4年度は令和2年度・3年度と比較し、利用人数や利用料金収入が増加しているが、コロナ渦前の水準には及ばない状況であった。				

予算・決算額推移（単位：千円）		3 0 年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算現額（事業費）		112,365	181,110	247,604	114,982	121,059	123,216
A.決算額（令和4年度は見込み）		106,216	167,130	219,917	108,939	119,135	123,216
財 源	国						
	都						
	その他	5,341	4,777	20,228	3,848		
一般財源		100,875	162,353	199,689	105,091	119,135	123,216
執行率（％）		94.5%	92.3%	88.8%	94.7%	98.4%	100.0%
B.人コスト				2,647	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		106,216	167,130	222,564	111,578	121,588	

令和5年度 事務事業評価シート

予算書P（令和5年度）			126		執行実績報告書P（令和4年度）			60	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
需用費	光熱水費等	33,059	需用費	光熱水費等	42,346	需用費	光熱水費等	42,000	
委託料	委託料	67,537	委託料	委託料	69,968	委託料	委託料	75,959	
工事請負費	維持補修費	7,459	工事請負費	維持補修費	1,007	工事請負費	維持補修費	4,570	
補償補填及び賠償金	補償補填及び賠償金	884	補償補填及び賠償金	補償補填及び賠償金	5,815	備品購入費	その他	687	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		74,000	R5	目標				74,000
				実績				70,144
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74,000	74,000	74,000	74,000		
		実績	34,953	54,404	64,263			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	利用者アンケート(施設利用満足度)				単位	満足度 (5点満点)
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		5.00	R5	目標				5.00
				実績				3.98
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5.00	5.00	5.00	5.00		
		実績	3.94	3.94	3.94			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。 現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	プール需要は高く、健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	スポーツ健康センター管理運営費					14
目 的	区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として管理運営を行う。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5486
対 象 者	すみだスポーツ健康センター利用者					
根 拠 法 令	すみだスポーツ健康センター条例					
関 連 計 画	すみだスポーツ健康センター条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人（委託先）住友不動産エスフォルタ・住友不動産建物サービス・アズビル共同企業体	
事 業 内 容	・施設概要 プール(25m×4コース)、流れるプール、子どもプール、幼児プール、ジャグジー、ウォータースライダー ・施設の管理運営・維持管理 区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る場として、施設の管理運営等を行う。					
経 過	開始年度	平成12年度		終了予定		
	平成12年7月に区民のレクリエーション普及振興及び健康増進を図る施設として開館した。 平成18年4月から指定管理者制度を導入して、更なる区民サービスの向上と経費の節減等を図る。 第1期：平成18年4月1日～平成21年3月31日（3年間） 第2期：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間） 第3期：平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間） 第4期（現在）：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		3 0 年 度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算現額（事業費）		94,334	102,540	199,192	207,641	548,412	152,410
A.決算額（令和5年度は見込み）		88,882	101,489	158,902	126,654	534,131	152,410
財 源	国						
	都						
	その他	8,864	8,244	1,872	3,610	2,320	7,050
一般財源		80,018	93,245	157,030	123,044	531,811	145,360
執行率（％）		94.2%	99.0%	79.8%	61.0%	97.4%	100.0%
B.人コスト				2,647	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		88,882	101,489	161,549	129,293	536,584	

予算書P（令和５年度）			126		執行実績報告書P（令和４年度）			61	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和３年度（決算）			令和４年度（決算）			令和５年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
委託料	委託料	83,039	委託料	委託料	128,485	委託料	委託料	138,291	
使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	753	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	753	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料	753	
工事請負費	維持補修費	872	工事請負費	維持補修費	401,264	工事請負費	維持補修費	13,366	
備品購入費	備品購入費	740	損失補填及び賠償金	光熱費補填	3,629				
損失補填及び賠償金	コロナ補償費	41,250							

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
			R5	目標				146,244
				実績				140,720
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	145,581	98,937	98,937	98,937		
		実績	34,818	67,375	58,248			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	レクリエーション普及振興及び健康増進施設としての役割を達成しているかの確認となるため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。令和3年度より新型コロナウイルスの影響を考慮した目標人数設定とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	利用者アンケート(施設利用満足度)				単 位	%
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		90.0%	R5	目標				75.0%
				実績				60.5%
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%		
		実績	63.9%	63.9%	86.8%			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	プール需要は高く、レクリエーション普及振興及び健康増進の場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の利用人数は、回復傾向にあるが、更なる利用人数増を目指して、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	総合運動場管理運営費					15
目 的	区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とし、施設の管理運営を行う。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5608-6588
対 象 者	墨田区総合運動場利用者					
根 拠 法 令	墨田区総合運動場条例					
関 連 計 画	墨田区総合運動場条例施行規則					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)2人 (委託先)すみだFTパートナーズ	
事 業 内 容	・施設概要 トラック＆フィールド、トレーニング室、会議室、多目的室、調理室、宿泊室 ・施設の管理運営・維持管理 区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資することを目的とした施設の管理運営を行う。					
経 過	開始年度	令和元年度			終了予定	
	令和元年12月に開場した(指定管理者制度導入済)。 第1期(現在): 令和元年12月1日～令和6年3月31日(5年間)					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）			36,728	78,987	69,078	67,027	71,444
A.決算額（令和5年度は見込み）			29,259	57,884	69,624	66,182	71,444
財 源	国						
	都						
	その他		470	1,400	1,400	1,400	1,400
一般財源		0	28,789	56,484	68,224	64,782	70,044
執行率（％）		#DIV/0!	79.7%	73.3%	100.8%	98.7%	100.0%
B.人コスト				2,647	2,639	2,453	
総事業決算額（A+B）		0	29,259	60,531	72,263	68,635	

予算書P（令和5年度）			127		執行実績報告書P（令和4年度）			61	
予算・決算の内訳（単位：千円）									
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
需用費	消耗品費	0	委託料	委託料	65,984	委託料	委託料	70,143	
委託料	委託料	65,655	工事請負費	維持補修費	198	工事請負費	維持補修費	1,301	
工事請負費	維持補修費	0	損失補填及び賠償金						
損失補填及び賠償金	コロナ補償費	3,969							

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	利用人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		131,000	R5	目標				21,867
				実績				25,914
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	95,026	130,404	130,404	130,404		
		実績	68,490	111,694	139,433			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民のスポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与するとともに、世代間、地域間等の多様な交流を促進し、地域力の向上に資する施設としての役割を達成しているかの確認となるため。令和3年度より新型コロナウイルスの影響を考慮した目標人数設定とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	利用者アンケート(施設利用満足度)				単 位	%
		最終目標値	目標年度		H28	H29	H30	(基準年)R1
		90.0%	R5	目標				75.0%
				実績				-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%		
		実績	78.2%	79.0%	74.3%			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者アンケートによる施設利用満足度を確認するため。現指定管理期間の終期が令和5年度のため、目標年度は令和5年度で設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	稼働率や利用者ニーズを考慮したうえで、施設の活用方法を検討していく。

課題・問題点
開場以来、利用人数は増加傾向にあるが、更なる利用人数増に向け、指定管理者と事業を進めていく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	区営運動場維持管理費					16
目 的	区民の健康・体力づくりを行う施設として管理運営を行う。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ施設担当
						5608-6588
対 象 者	区営運動場利用者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	墨田区立公園条例及び同条例施行規則 墨田区営運動場条例及び同条例施行規則 墨田五丁目運動広場開放要綱 東墨田一丁目運動広場運営要綱 都有地の一時開放による幼児・児童の遊び場並びに青少年及び老人の運動広場等の設置に関する要綱					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制) 2人 (委託先) 株式会社施設管理サービス外	
事 業 内 容	屋外体育施設の維持管理を行う。 野球場11面、少年野球場7面、テニスコート14面、球技場2面、少年サッカー場2面、競技場4面(うち3面野球場と兼用)、運動広場2か所、立花体育館					
経 過	開始年度			終了予定		
	令和元年度より錦糸公園野球場外施設管理業務委託を長期継続契約とし、令和3年度より河川敷運動場外管理業務委託を長期継続契約とした。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		207,292	204,610	221,661	196,058	186,137	232,126
A.決算額（令和5年度は見込み）		188,983	187,613	195,814	188,168	180,942	232,126
財 源	国						
	都						
	その他	47,723	46,173	43,423	49,154	66,234	56,904
一般財源		141,260	141,440	152,391	139,014	114,708	175,222
執行率（％）		91.2%	91.7%	88.3%	96.0%	97.2%	100.0%
B.人コスト						4,089	
総事業決算額（A+B）		188,983	187,613	195,814	188,168	185,031	

予算書P（令和５年度）			124			執行実績報告書P（令和４年度）			58		
予算・決算の内訳（単位：千円）											
令和３年度（決算）				令和４年度（決算）				令和５年度（予算）			
節		概要	金額	節		概要	金額	節		概要	金額
需用費		光熱水費等	11,927	需用費		光熱水費等	14,111	需用費		光熱水費等	16,216
役務費		通信運搬費等	21,759	役務費		通信運搬費等	22,898	役務費		通信運搬費等	15,189
委託料		施設管理委託料等	128,224	委託料		施設管理委託料等	129,684	委託料		施設管理委託料等	150,103
使用料及び賃借料		使用料及び賃借料	2,267	使用料及び賃借料		使用料及び賃借料	5,622	使用料及び賃借料		使用料及び賃借料	9,023
工事請負費		維持補修費	21,490	工事請負費		維持補修費	5,710	工事請負費		維持補修費	34,755
原材料費		その他	693	原材料費		その他	337	原材料費		その他	300
備品購入費		その他	0	備品購入費		その他	0	備品購入費		その他	3,960
負担金及び交付金		一般負担金	1,810	負担金及び交付金		一般負担金	2,584	負担金及び交付金		一般負担金	2,580

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	利用コマ数(屋外体育施設＋立花体育館)				単 位	コマ
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		57,000	R7	目標				
				実績	52,884	60,198	57,012	56,219
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			55,000	55,000	56,000	57,000
		実績	50,359	54,019	56,061			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	稼働率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		49,000	R7	目標	55.0%	55.0%	57.0%	57.0%
				実績	-	-	-	58.5%
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	59.0%	59.0%	61.0%	61.0%	63.0%	63.0%
		実績	59.9%	60.6%	59.3%			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	スポーツ活動及び健康・体力づくり施設としての役割を達成しているかの確認となるため。 新型コロナウイルスの影響を加味し、コロナ禍前の利用人数に戻すことを目標とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	健康・体力づくりを行う場として必要な施設であるため、運営を継続する。

課題・問題点
施設の経年劣化が見られるため、計画的な補修が必要となってくる。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる				部内優先順位
事 業 名	東京2020オリパラ競技大会レガシー継承事業					17
目 的	東京2020大会で創出した様々な取組みを、大会終了後もレガシーとして引き継いでいく。					主管課・係（担当）
						スポーツ振興課スポーツ振興担当
						5608-6588
対 象 者	区内在住・在勤・在学者					
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条					
関 連 計 画						
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤4人 (委託先)総合型地域スポーツクラブ外	
事 業 内 容	1 ボクシング普及啓発事業の実施 (1)すみだボクシング祭り (2)全日本ボクシング選手権大会での墨田区長賞の授与 (3)区内学校等への出前授業 2 障害者スポーツ普及啓発事業の実施 (1)パラ競技の普及啓発 (2)障害者スポーツ推進事業 (3)区内学校等への出前授業 3 スポーツ人材の育成(すみだスポーツボランティアの運営)					
経 過	開始年度	令和4年度			終了予定	
	1 ボクシング普及啓発事業の実施 本区で実施されたオリンピック競技であるボクシングの普及啓発と区民の健康増進等を目的として、アマチュアボクシング連盟やプロボクシング協会等と連携したイベント等を実施している。 2 障害者スポーツ普及啓発事業の実施 障害の有無にかかわらず障害者スポーツを通じて、共生社会の実現への理解と共感を深めてもらうことを目的とする。また、障害者にスポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツを始めるきっかけを提供している。 3 スポーツ人材の育成(すみだスポーツボランティアの運営) 東京2020大会に向けて高まったボランティア機運を絶やさず更に発展させるために、令和4年度に設立した「すみだスポーツボランティア」を運営している。					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）						3,250	6,431
A.決算額（令和5年度は見込み）						2,102	6,431
財 源	国						
	都					999	3,216
	その他						
一般財源		0	0	0	0	1,103	3,215
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	64.7%	100.0%
B.人コスト						8,192	
総事業決算額（A+B）		0	0	0	0	10,294	

予算書P（令和5年度）			123			執行実績報告書P（令和4年度）			57		
予算・決算の内訳（単位：千円）											
令和3年度（決算）				令和4年度（決算）				令和5年度（予算）			
節		概要	金額	節		概要	金額	節		概要	金額
需用費		光熱水費等		需用費		光熱水費等		報償費		講師謝礼等	404
役務費		通信運搬費等		役務費		通信運搬費等		需用費		消耗品購入等	1,046
委託料		施設管理委託料等		委託料		施設管理委託料等		役務費		保険料	51
使用料及び賃借料		使用料及び賃借料		使用料及び賃借料		使用料及び賃借料		委託料		事業委託	2,040
工事請負費		維持補修費		工事請負費		維持補修費		使用料及び賃借料		会場使用料	90
原材料費		その他		原材料費		その他		負担金及び交付金		各種補助金	2,800
備品購入費		その他		備品購入費		その他					
負担金及び交付金		一般負担金		負担金及び交付金		一般負担金					

事業の果

手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	墨田区スポーツボランティア登録者数				単 位	人	
	最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
	120	R7	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標			90	100	110	120	
	実績			95				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツへの関わり方の一つとして、「スポーツを支える」主体であるスポーツボランティアに登録している区民の数を計測する必要があるため							
	(目標値の理由) 積極的な広報を行い、新たな参加者の増加も想定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
70		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	66	67	68	69	70	
実績		64.3	64.3	63				
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) 各種レガシー事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを測る必要があるため								
(目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で創出した様々な財産をレガシーとして継承し、スポーツを「する・みる・ささえる」など、自分の興味・関心に合った観点でスポーツに関わり、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや地域での交流につなげる必要がある。

課題・問題点	
1	ボクシング普及啓発事業 (一社)日本ボクシング連盟と連携し、ボクシングPRイベントや大会を実施し、更なるボクシングの普及啓発を推進する必要がある。
2	障害者スポーツ普及啓発事業 パラ競技の普及だけでなく、障害者が日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整える。そのために、福祉部門及び関係団体と連携し、障害者スポーツの現状・課題・ニーズを把握した上で事業の企画・検討を行う必要がある。
3	スポーツ人材の育成(すみだスポーツボランティアの運営) 様々なスポーツ事業に携われるよう活動の場を広げていく必要がある。

補 助 金 名 称	区民納涼民踊大会補助金			主管課・係（担当）		
根 拠 法 令	スポーツ振興事業補助金交付要綱			スポーツ振興課スポーツ振興担当		
補 助 概 要	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られるよう、毎年盆踊り大会を開催している。事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。			5608-6312		
目 的	民踊の知識・技術を持った民踊連盟に補助金を交付することで、事業運営をより円滑に行うため					
対 象	墨田区民踊連盟					
基 準	区独自基準					
補 助 条 件	一般区民を対象として実施し、かつ、スポーツの普及・振興を目的とする事業					
経 過	開始年度		終了予定			
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度：横網町公園で実施 平成18年度～23年度：錦糸公園で実施 平成24年度～現在：スカイツリータウンで実施					
議 会 質 問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会を中止したため、補助金は交付していない。					

予算・決算額推移（千円）		3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算額（事業費）		960	960	0	0	979	1,014
決算額（令和 5 年度は見込み）		960	960	0	0	979	1,014
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		960	960	0	0	979	1,014
執行率（％）		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	900	500	1,000	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200
		実績	0	0	1,100			
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由)民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。						
		(目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。						
		指標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由)区民納涼民踊大会を実施することと、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民の割合に一定の相関関係があるため。						
		(目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ㈱と協議していく。

課題・問題点
会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場の利用については、平成24年度から同施設で実施しているが、引き続き使用できるよう調整していく。

補助金 名 称	墨田区体育協会補助金			主管課・係（担当）	
根 拠 法 令	墨田区体育協会補助金交付要綱			スポーツ振興課スポーツ振興担当	
補 助 概 要	墨田区体育協会に対し、区民体育大会、区民体育祭及び墨東五区大会等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。			5608-6312	
目 的	墨田区体育協会に対し、区民体育大会、区民体育祭及び墨東五区大会等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。				
対 象	墨田区体育協会				
基 準	区独自基準				
補 助 条 件	1 区民体育大会経費、区民体育祭経費及び墨東五区大会経費 2 都民体育大会等に参加する選手・役員の派遣費 3 前二号に掲げるもののほか、区長が必要と認める経費				
経 過	開始年度	昭和22年度	終了予定		
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。				
議 会 質 問 の 状 況	【H29第3回定例会】 各体育協会加盟団体とオリンピック・パラリンピック大会に向けての連携について、現在どのような取組をされているのか。 →墨田区体育協会は、区内のスポーツ関連団体を取りまとめる重要な協会で、今後、各加盟団体と連携し、大会の機運を盛り上げ、これを契機とした区民の体力向上やスポーツを身近に感じられるような取組を展開していく。 オリンピック・パラリンピック期間中はボクシング競技が行われるため、ボクシング連盟の医事委員会、又は組織委員会から派遣される可能性があるかもしれませんが、本区の医療関係者も参加要請される可能性も想定できる。区の体育協会内に医事委員会を設立し、大会期間中にサポートできる体制を整えていくことが必要ではないか。 →医療体制に関する具体的な情報は、組織委員会や東京都から入っていない。今後、スポーツファーマシストをはじめとした資格のある医療関係者の把握に努めるなど、医療関係団体からさまざまな情報収集を行い、区として対応が求められる場合には、連携して取り組んでいく。また、体育協会内の医事委員会設置については、今後、都や組織委員会の動向を注視し、必要に応じて調整していく。				
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会を中止したため、補助金は交付していない。				

予算・決算額推移（千円）		3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算額（事業費）		7,752	7,952	8,652	7,600	7,682	10,732
決算額（令和 5 年度は見込み）		7,692	7,535	1,333	2,464	5,373	10,732
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,692	7,535	1,333	2,464	5,373	10,732
執行率（％）		99.2%	94.8%	15.4%	32.4%	69.9%	100.0%

補助金の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数(区民体育大会、区民体育祭及び墨東五区大会)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25,500		目標	24,500	24,500	24,500	24,500
				実績	23,525	22,564	21,926	20,135
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
		実績	1,376	7,697	18,637			
	目的に対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指定の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。						
		指 標	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		70	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	66	67	68	69	70
		実績	64.3	64.3	63			
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		(指標の選定理由) 区民体育大会・区民体育祭及び墨東五区大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区体育協会の加盟団体が区民体育大会等を主管して運営することで、自主的に専門性も加味して運営することができている。

課題・問題点
・区民の体力向上及びスポーツ精神の涵養を図ることを目的に、当該協会が区とともにどのような役割を担えるか、団体と絶えず協議していく必要がある。また、団体活動の活発化を絶えず図ることも必要である。